

ブランドの未来

アンディー・ロング、ペントランド・ブランズ CEO

Klaus Vogel / Emily Norval

アンディー・ロングが、ペントランド・ブランズのCEOに就任以来初めてインタビューに答えた。
ブランドの価値とは、市場の未来とは？



Andy Long

ペントランド・ブランズはとても特別な企業だ。3世代に渡る家族経営のこの企業は、スピード、ボックスフレッシュ、エレッセ、バークハウスといったブランドを傘下に持ち、ラコステ・ショシュールやテッドベーカーのグローバルライセンスを所有する。親会社であるペントランド・グループは、JDスポーツ・ファッションの株式の過半数を保有しているだけでなく、ハンターブーツのような企業の株主でもある。200カ国に渡る年間売上は、30億ドル。同グループはパワフルで目の離せない存在だ。

ペントランド・ブランズで前COOのアンディー・ロングは、アンディー・ルービンの会長昇格を受けて、2015年1月に同社CEOに就任した。WeArは、北ロンドンに位置する素晴らしい本社を訪れ、ペントランド・ブランズの成功の鍵は何かと、ロングに尋ねた。その答えは「価値観」というシンプルなものだった。「私たちは、世代を超えて世界に愛される、“ブランドのファミリー”を築きたいという話をしています。私は、株主の次世代への責任を担っており、“1つの家族として”ブランドについて話をします。勇気、クリエイティビティ、情熱が備わっているか？変化を続ける市場に立ち向かうため、学びの姿勢をどう保ち続けるか？すべてはこの点に尽きるのです」と、ロングは言う。

同社が反応した変化の1つに、eコマースが挙げられる。「オンラインで何をやって行くかという話になると、私たちの核となるビジネスは卸売りだということをとても強く意識します。現時点では、市場への直接ルートを持つオンラインに弊社のブランドを“解禁”し、私たちの顧客と競争する構図は想像できません」。まさに、セレクトショップとの協業が、ペントランド・ブランズが重要視することなのだ。「遅かれ早かれ、消費者は選択肢を欲しがります」。なぜ単独店よりもマルチブランドの小売を選んだのかとの問いに、ロングはこう答えた。「マルチブランドのリテラーが担うべき役割とは、消費者の想像力を捉え、その商品が個々のブランドが単体では成し遂げられないものであることを認識する手助けをすることなのです。私たちは、選択的にオンラインを利用してブランドのストーリーを語りかけますが、根本的には、ブランドのオーナーとしての役割は自分達にあり、従って、私たちが優先する流通網は、マルチブランドのリテラーを軸に構築されているのです」と、ロングは続ける。

この戦略が成功した大部分の要因は、情報の伝達、コンシューマーインサイト、スタッフの教育、販促支援の素材、そしてもちろん、最も革新的な商品を市場へ送り込むための、ブランドへの投資が挙げられる。消費者との「感情面での繋がり」としてロングが先に述べたことを実践したからこそ、ラコステのようなブランドが大きな成功を収めたのだ。ほんの一例に過ぎないが、例えば、成功したブランドの膨大なアーカイブから、唯一無二のモデルを復活させたコレクションを発表した時のように。ロングにとって、ブランドのDNAを

維持しながらコミュニケーションを図ることも同様に重要なのだ。「人々は、ブランドの本質を理解しています」と、ロングは説明する。「例えばこの視点は、ラコステがブランドに忠実であり、私たちはそこを通じてコミュニケーションを図れることを確実にしたのです」。

確かに、ペントランド・ブランズの世界的成功をみれば、このことも自ずと明らかだ。10年前までは、80%が英国国内でのビジネスだったが、現在は80%が国外のビ

ジネスに転じている。ロングは、過去12ヶ月、経営が順調なブラジル、ロシア、インド、中国を新進市場として挙げた。外貨の変動やロシアの不況などが原因で、ビジネスが“停滞”しているにもかかわらず。しかしながら、新しいチャンスは、アメリカと英国を除く主要西ヨーロッパ諸国に残っている。とりわけ企業が、地元のノウハウにアクセスできる、その国で信頼の置ける成熟したパートナーとの業務提携を好むことを考えれば自明の理だ。将来、エクスクルーシブなハイストリートのショップとショッピングモールの両方において、マルチブランドのコンセプトは世界中で重要な役割を果たすだろうと、ロングは確信している。「互いの成功を保証するこれらの素晴らしいリテラーと、出来るだけ業務提携をしたいという私たちの願いは、私たちの家族の価値に根ざしています。私たちは互いを必要としているのだと認識しています。私たちがリテラーに力を注いできたのには、私たちが共に強く成長していけるよう、私たちに課された役割でベストを尽くすことだと考えてきたからなのです」。



Pentland Brands Headquarters